

# つどい

## 陸上自衛隊守山駐屯地内 慰霊碑清掃と参拝の集い

愛知偕行会は、残暑厳しい令和元年9月6日15時から愛知県隊友会、愛知県自衛隊家族会、愛知県郷友会の自衛隊協力3団体と協賛し総勢約60名をもって、陸上自衛隊守山駐屯地内に建立されている「陸軍戦没者慰霊碑」及び「第10師団地区内陸上自衛隊殉職隊員慰霊碑」の清掃と参拝を行った。

まずは陸軍戦没者慰霊碑を愛知偕行会と郷友会、殉職自衛官慰霊碑を愛知県隊友会と家族会の2グループに分かれ、落葉拾い等の清掃を行った後、師団長鈴木直栄陸将、副師団長兼ねて守山駐屯地司令大橋智陸将補、守山駐屯地業務隊長酒

瀬川友博1佐及び第35普通科連隊長曾根勉1佐のご参加を得て、参加者全員で陸軍戦没者慰霊碑、次いで殉職自衛官慰霊碑の順で、参拝及び愛知県隊友会会員の空自63期垣内洋石氏による詩吟を奉納した。この詩は「慰霊碑に捧げる」と題するものでそれぞれ、青山正嗣、小山秋耕両先輩の作によるものであり、毎年欠かさず奉納しているものである。

次に、本庁舎内教場に移動し、しばらくの休憩の後、駐屯地業務隊長による陸軍時代から米進駐軍の駐屯、次いで陸上自衛隊に至る歴史の概要を、写真・映像を含めて紹介していただいた。

国旗降下した後、司令部玄関前で記念撮影に続く隊内クラブ「やすらぎ」に場所を変えた懇親会は、師団長、副師団長、業務隊長、第35普通科連隊長等の参加を



得て、協賛主催4人の会長及び師団長、副師団長、最後に当愛知偕行会特別会員の愛知県議会副議員のご挨拶をいただき、当会名誉会長後藤昭氏の発声による献杯により宴が開始された。宴は正味1時間と短い時間であったが、隊員クラブシェフの心尽くしの料理に舌鼓を打ち、大いに語らい、英気を養い盛会のうちに本行事を終了した。

副会長 水谷 登

